

## 医療安全推進者による患者誤認防止のための安全パトロール

社会医療法人黎明会 北出病院

医療安全管理室 医療安全管理者 澤 孝子



### 【 はじめに 】

当院では患者さまに安全で安心していただける質の高い医療サービスを提供すべく、全職員の積極的参画を目指した医療事故防止・安全管理体制の充実強化に取り組んでいます。

当院における医療安全に関する継続改善課題は、薬剤関連のインシデント低減、患者・部位・検体、書類などの誤認防止です。2019年に報告されたインシデント、アクシデントは688件。最多が薬剤174件、次いで多いのが転倒・転落152件。そして、何としても0件に近づけたい、減らしたい誤認事例については、与薬時の患者間違い、療養上の世話における患者間違い、請求書・領収書や予約表等の誤認を含め年間26件報告されています。

今回は、2019年度から取り組んでいる医療安全推進者による患者誤認防止のための安全パトロールについて紹介いたします。

### 【 2019年度 医療安全パトロール年間計画 】

目的：患者誤認防止と職員への安全啓蒙

構成メンバー：医療安全推進者(部門責任者、部署責任者)数名でチーム編成

回	月日	時刻	対象部署	確認プロセス	メンバー
第1回	7月18日	原則 AM 中 30~60分 目途	外来診療科	診察時、採血時	A, B, C
			内視鏡センター	内視鏡検査実施前	
			医事課	初診受付時、会計時	
第2回	9月19日		手術室	実施前の最終確認	D, E, F
			放射線科	実施前の最終確認	
第3回	10月17日		検査科	検査実施前の最終確認	G, H, C
			薬剤科	薬剤を渡す時	

第4回	11月21日	一般3階病棟	最終確認(与薬、検体採取、配膳、書類を渡す時)	I, J, C
		一般4階病棟		
第5回	12月19日	リハビリテーション科	最終確認(リハビリ実施前、書類を渡す時)	K, L, C
第6回	1月16日	回復期リハビリ病棟	最終確認(与薬、検体採取、配膳、書類を渡す時)	M, N, S
		療養病棟		
第7回	3月19日	透析センター、臨床工学科	透析実施前の最終確認	P, Q, I

## 【 チェックの視点 】

評価基準：◎(定着している)、○(サンプリングリスクはあるが、見たところ概ね実施されている)、△(明らかな不適合

ではないが、不安全の懸念)、×(ルール逸脱など不適合な状態)

対象部署	確認プロセス	チェックの視点(根拠:医療安全管理規程、業務手順書)
外来診療科	診察時、採血時	フルネームで名乗ってもらい、生年月日を言ってもらい、受診票と確認。
		患者IDと検体容器ラベル、オーダーを指さし呼称による照合確認
内視鏡センター	内視鏡検査実施前(外来)	フルネームで呼称し、内視鏡センターに案内する。
		入室後、患者本人に氏名を名乗ってもらう(必要時、生年月日も)
		鎮静剤を使用する場合は、ネームバンドを手首に装着する。
	内視鏡検査実施前(入院)	病棟に患者名をフルネームで呼称し、出棟依頼する。
内視鏡センターに入室後、患者本人に氏名を名乗ってもらい、ネームバンドの確認も行う。		
		ネームバンドと患者IDとオーダー(問診票等も可)を指さし呼称による照合確認
医事課	初診受付時、会計時	ID登録や初診受付時、フルネームで名乗ってもらい、生年月日を言ってもらい、保険証と確認。
		新規作成した電子カルテと発行した受診票、保険証と氏名、生年月日、IDを確認する。
		指さし呼称による照合確認
手術室	実施前の最終確認	外回り看護師は、手術予定表で患者名・術式・部位(左右など)を確認し、手術室に同行もしくは移送する。
		また、手術室内で患者名・年齢・手術部位・身長・体重をホワイトボードに明示する。
		麻酔担当医は、スタッフと一緒にカルテなどから身長、体重などのチェックを行う。
		手術開始前、主治医が声を出してタイムアウトを行い、リーダー看護師が手術承諾書、手術予定表などで確認する。
放射線科	実施前の最終確認	外来受診票または検査指示書を見ながらフルネームで呼称確認。
		撮影室入室時に、フルネームと生年月日を言ってもらい、(受診票または指示書と指さし呼称による照合確認)または、付き添いの方と本人であることを確認する。

		認識困難な患者には、付添人または案内した看護師、介護員に、入院患者の場合はネームバンドなどにより患者本人であることを確認する。
		撮影担当技師は、撮影前に電子カルテ・RISにてオーダー内容(目的・部位・方法)の確認を行う。
検査科	検査実施前の最終確認	患者 ID と検体容器ラベル、オーダーを指さし呼称による照合確認 フルネームで名乗ってもらい、生年月日を言ってもらい、受診票と確認。
薬剤科	薬剤を渡す時	フルネームで名乗ってもらい、薬袋、オーダー等と指さし呼称による照合確認
一般 3 階、 4 階病棟	最終確認	フルネームで名乗ってもらい、ネームバンドと行為の根拠(処方箋、指示書、食札、書類)、モノ(薬、検体、食事、書類)を指さし呼称により照合確認
リハビリテーション科	最終確認	患者さんと呼ぶ時は、フルネームで呼称する。 患者さんにはフルネームで名乗ってもらう。 ネームバンド確認や書類・リハビリ指示書等で指さし呼称による照合確認する。
回復期リハビリ、療養病棟	最終確認	フルネームで名乗ってもらい、ネームバンドと行為の根拠(処方箋、指示書、食札、書類)、モノ(薬、検体、食事、書類)を指さし呼称により照合確認
透析センター、臨床工学科	透析実施前の最終確認(外来)	フルネームで名乗ってもらい、ネームカードと行為の根拠(指示書、コンサルター等)を指さし呼称により照合確認
	透析実施前の最終確認(入院)	フルネームで名乗ってもらい、ネームバンドと行為の根拠(指示書、コンサルター等)を指さし呼称により照合確認

## 【 医療安全パトロール報告書の作成と結果の活用 】

対象部署毎に設定した確認プロセスを前述のチェックの視点で観察し、評価します。評価とコメントを入力し、パトロールに参加したメンバーが、良かった点、改善提案、感想等をコメント欄に入力し、「医療安全パトロール報告書」を作成します。作成した報告書は院内メールで共有します。

さらに、「医療安全パトロール報告書」を確認した部署責任者は、内容を確認し、「部署の受け止め」をパトロール担当者にフィードバックします。「部署の受け止め」も院内メールで共有します。

## 【 おわりに 】

患者誤認防止への取組みは、部署間・職種間のバラつきが否めませんが、部署責任者(医療安全推進者)が自部署も含めた医療安全パトロールを通し、患者誤認に関連するインシデントを低減するためのゆるぎないリーダーシップ発揮の動機づけとなることを願い2019年度から開始しています。

『フルネームで名乗ってもらうのが原則ではあるが、透析患者の中には週に3回病院に来ているのに、必要があるのかという意見があり、現状ではネームカードにて確認させてもらっている。ネームカードを持参してない場合は名乗ってもらうことの徹底とネームカードを紛失している場合は、再発行を行い、誤認防止に努めていきたい』、『容器に検体を分注する際は、患者情報を明記したラベルが当該患者のものであるか、`指さし呼称による照合確認`が定着するよう努めます。患者確認については、部署全体で概ね実施できています。引き続き、安全意識をもって取り組みたいと思います』といった「部署の受け止め」がフィードバックされるようになりました。

今年度は「部署の受け止め」を確実に記入し、医療安全推進者の主体的な参画が得られるよう、プロセスフローチャートを作成し、取り組みや結果が水平展開できるよう改善していきたいと思います。医療事故防止・安全推進活動の一つとして期待する効果が得られるよう、根気強く、取り組みを継続していきたいと思います。

< お問い合わせ先 >

〒644-0011 和歌山県御坊市湯川町財部 728-4 社会医療法人黎明会 北出病院

TEL : 0738-22-2188

E-mail : takako\_sawa@reimeikai.com